

## 茨木市パークマネジメントに向けた公園利用実態調査 実施報告

### 1. 調査目的

茨木市では、令和6年度時点で都市公園 122 箇所、児童遊園 298 箇所が整備されており、市民に憩いと潤いを与えるとともに、こども達の遊びの場として利用され親しまれている。一方で、公園施設の老朽化や樹木の老木化などによる維持管理費の増大や、整備当初から周辺地域の人口特性や環境の変化に伴う公園への市民ニーズの変化への対応などといった課題が生じている。

このような中、地域特性に応じた公園機能の適切な配置や、多様な主体による利活用の促進等により、公園の魅力化と維持管理の効率化を目指したパークマネジメントについて今後検討を進める予定である。本調査では、パークマネジメントを行うことによる効果が高く、他地域への展開の参考となると考えられる2地域を対象に、既存公園の現状分析のための公園利用実態を把握する現地調査を行った。

### 2. 実施概要

#### (1) 調査日

- 調査は5月中旬から6月末までの平日1日、休日1日とし、以下の日程で実施。  
休日：令和7年6月1日（日）  
平日：令和7年6月3日（火）

#### (2) 調査対象地および対象公園

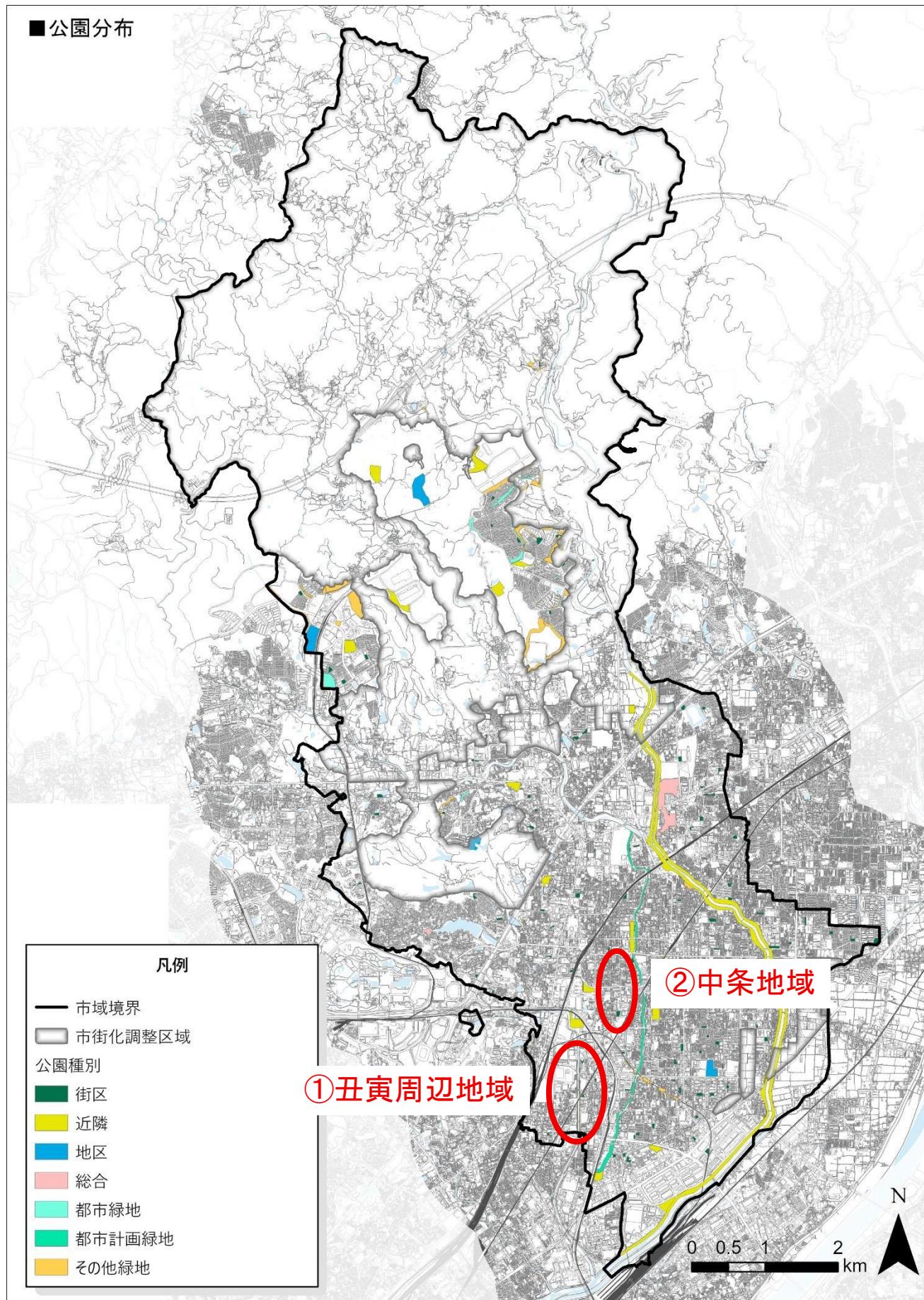
公園整備状況に関する地域特性の分析をもとに、パークマネジメントを行うことによる効果が高く、モデルとして他地域への展開が期待できる以下の2地域を対象とした。

#### ① 丑寅周辺地域

対象公園	10 箇所（丑寅公園など）
地域特性	・戸建住宅や小規模な集合住宅が密集する既成市街地と、農地や社寺が残る既存集落で構成される地域。地域内には近隣公園クラスの拠点となる公園が無く、1,000 m <sup>2</sup> 未満の小規模な公園のみが複数存在する。
選定理由	・面積規模が比較的小さい小規模な公園が多数存在することから、市内各地域に存在する小規模公園の今後のあり方について検討する上でのモデルとなると考えられる。

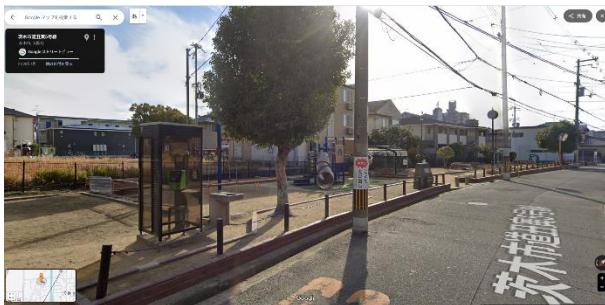
#### ② 中条地域

対象公園	10 箇所（下中条児童遊園など）
地域特性	・JR 茨木駅と市役所を結ぶ幹線道路沿いに位置し、戸建住宅や中層の集合住宅が密集して存在する地域。地域内には小規模な児童遊園が近接して複数存在しているが、近隣には岩倉公園やおにクリや中央公園が整備されたことで、公園の利用状況に変化が生じていると考えられる。
選定理由	・周辺において拠点整備が進められたことで、既存の小規模公園の役割や市民ニーズに変化が生じていると考えられることから、地域特性の変化に応じた小規模公園の今後のあり方について検討する上でのモデルとなると考えられる。



① 丑寅周辺地域の公園の様子

A 丑寅公園



C 沢良宜西2丁目児童遊園



E 沢良宜西公園



B 大正町児童遊園



沢良宜西3丁目児童遊園

B 沢良宜西区画整理1号公園



D 沢良宜西区画整理2号公園



A 大正町第3児童遊園



C 沢良宜西3丁目第2児童遊園



E 蔵垣内公園



## ② 中条地域の公園の様子

### A 下中条児童遊園



### C 東中条町第2児童遊園



### E 東中条町第四児童遊園



### A 奈良東公園



### C 下中条町第2児童遊園

### B 中条多目的広場



### D 東中条第三児童遊園



### F 東中条町児童遊園

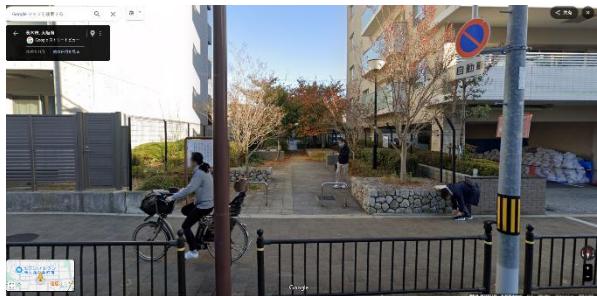


### B 小川町児童遊園



### D 新中条町児童遊園

第3回茨木市みどりの施策推進委員会 資料



### (3) 調査手法

- 9時台から17時台まで、1時間おきに目視により利用人数、利用者属性、利用内容等を確認。
- 調査員が対象公園を巡回し、順次確認。

### (4) 調査項目

以下の各項目について、確認できた内容を調査票に記録。

#### ①利用者数（どれかひとつ選択）

※調査効率を考慮し、総数を数えるのではなく、区分を設定して選択する形式を想定。

「0人」「1~5人」「6~10人」「11~20人」「21~50人」「51人~100人」「100人以上」

#### ②主な利用者（確認できたものすべて選択）

- |               |               |           |
|---------------|---------------|-----------|
| 1. 子連れの親子     | 2. 未就学児       | 3. 小学校低学年 |
| 4. 小学校高学年     | 5. 中学生        | 6. 高校・大学生 |
| 7. 大人（20~30代） | 8. 大人（40~50代） |           |
| 9. 高齢者（60代~）  |               |           |

#### ③主な利用者（確認できたものすべて選択）

- |            |               |                    |
|------------|---------------|--------------------|
| 1. 遊び（遊具）  | 2. 遊び（ボール遊び）  | 3. 遊び（広場（ボール遊び以外）） |
| 4. 遊び（その他） | 5. おしゃべり      | 6. 休憩              |
| 7. 散歩・通過   | 8. ペットの散歩     | 9. 運動（ジョギングなど）     |
| 10. 飲食     | 11. 清掃・花壇の手入れ | 12. その他            |

#### ④主な性別（確認できたものすべて選択）

1. 男性 2. 女性 3. どちらも

#### ※集計方法

- ・①利用者数は、各区分の中間値を合算（例：「1~5人」は3人で計算。100人以上は100で計算）。
- ・②③④は確認した合計回数を集計。

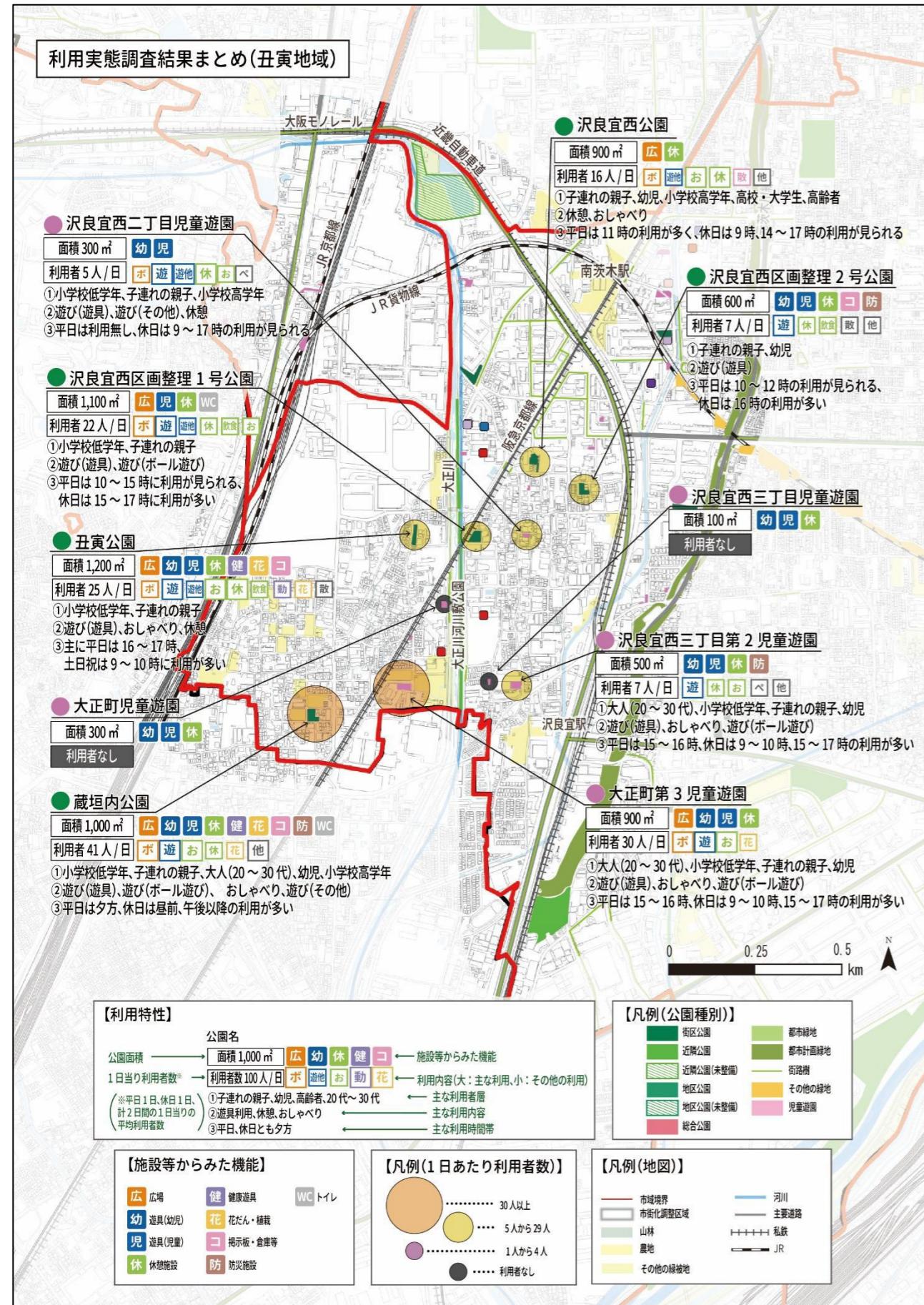
(参考)

下記の調査票を、各公園、各時間帯で記入する。

丑寅地域 1班		令和7年 月 日 (曜日)・祝日			
公園番号	公園名	時間帯	主な利用者		主な利用
1	丑寅公園	9時台	1	子連れの親子	1 おしゃべり
2	蔵垣内公園	10時台	2	幼児	2 遊び(遊具)
3	沢良宜西2丁目児童遊園	11時台	3	小学校低学年	3 遊び(ボール遊び)
4	沢良宜西区画整理1号公園	12時台	4	小学校高学年	4 遊び(上記以外)
5		13時台	5	中学生	5 散歩
		14時台	6	高校・大学生	6 休憩
		15時台	7	大人(20~30代)	7 運動(ジョギング・体操等)
		16時台	8	大人(40~50代)	8 ペットの散歩
		17時台	9	高齢者(60代~)	9 飲食
			主な性別		10 清掃、花壇の手入れ
			1	男性	11 その他
			2	女性	
		人数	3	どちらも	
		0	自由記入欄 (気付いたことがあれば記入してください)		
		1~5			
		5~10	おしゃべりは高齢者。 ボール遊びの内容: やわらかいボールでのキヤツチボール。		
		10~20			
		20~30			
		30~50			
		50~100			
		100~			
			主な利用が複数見られる場合は、誰が(年齢層)、 何を(利用内容)しているか簡単でよいので記入して ください。 ボール遊びがみられた場合は、ボールの種類、内 容などを記入してください。 その他、上記選択肢に無い内容があれば、記入して ください。		

## (3) 調査結果

## ① 丑寅周辺地域



## ■調査結果概要

- 地域内で比較的利用者が多かった公園は、**蔵垣内公園（街区公園）**と**大正町第3児童遊園**。特に親子や小学生の遊びの利用が多くみられた。どちらもまとまった広場があり、**こども達が遊びやすい環境**であるため利用者が多い結果となっていると考えられる。特に蔵垣内公園は、阪急京都線で分断された西側のエリアで周辺に公園が存在せず、利用者が集中していると考えられる。
- 利用者が見られなかった公園は、**大正町児童遊園**と**沢良宜西三丁目児童遊園**。どちらも面積が**300 m<sup>2</sup>以下**の小規模な公園である。どちらも近接した場所に他の公園が存在している。
- 各公園の利用者層および利用内容は遊具遊びやボール遊びなど、**こども達の遊びの利用が主体**となっており、大人や高齢者の利用は比較的少なかった。

## ■利用者が比較的多かった公園



蔵垣内公園



大正町第3児童遊園

## ■利用者が見られなかった公園



大正町児童遊園



沢良宜西三丁目児童遊園

## ■公園以外のみどり



大正川

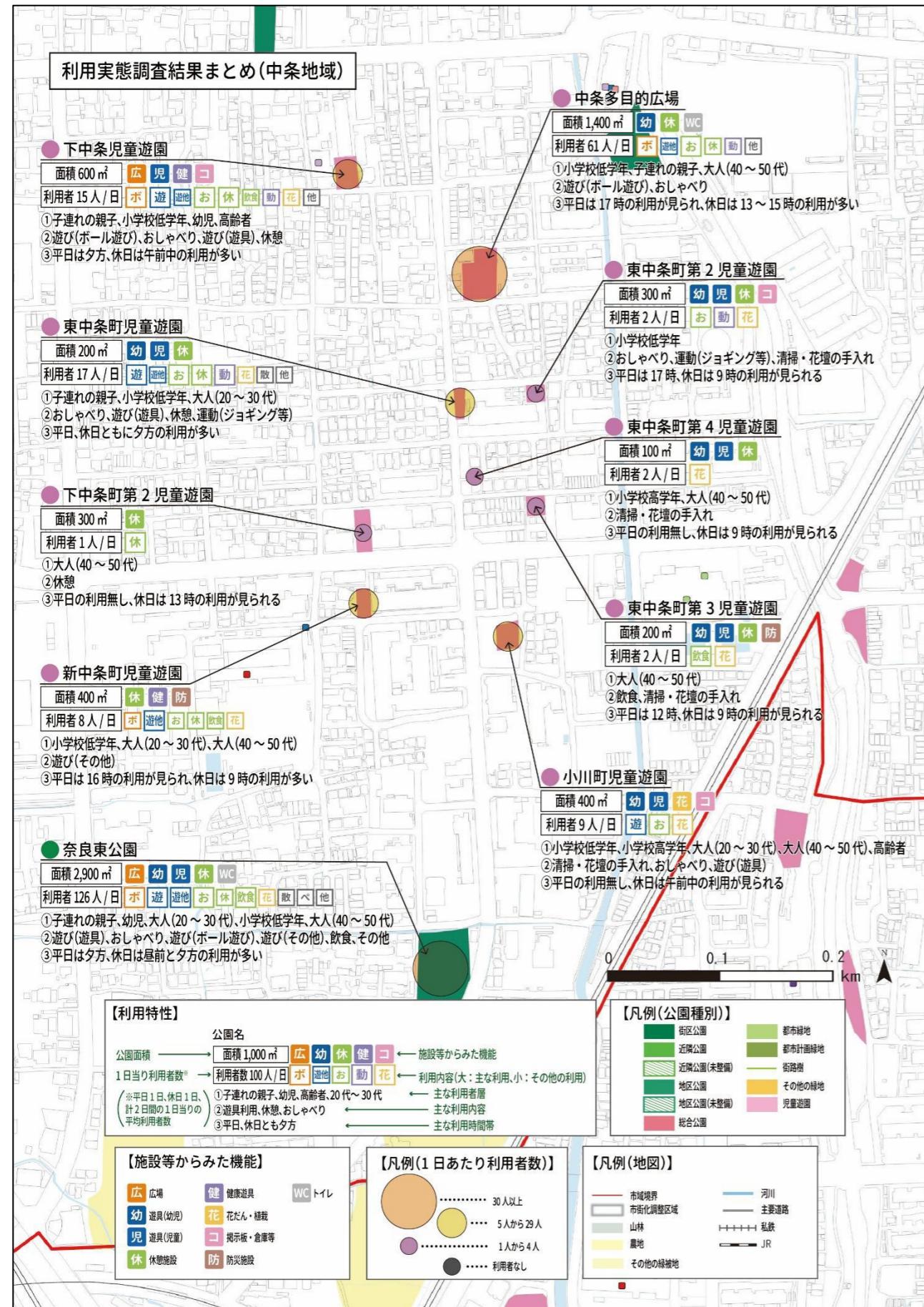


保存樹木（素盞鳴尊神社）



農地（生産緑地）

## ②中条地域



## ■調査結果概要

- 地域内で比較的利用者が多かった公園は、奈良東公園（街区公園）と中条多目的広場。特に、奈良東公園は幼児の親子連れから小学生、中学生まで幅広い年齢層のこども達の遊び場として利用されている。本市の人口が集中するエリアでありながら、近接するエリアには同規模の公園が存在せず、利用者が集中していると考えられる。
  - 利用者がほとんど見られなかった公園が多数（東中条町第2児童遊園、下中条町第2児童遊園、東中条町第4児童遊園、東中条町第3児童遊園）あった。いずれも面積が300m<sup>2</sup>以下の小規模な公園で、近接して小規模の公園が多数存在しており公園機能が重複していることや、比較的大きな奈良東公園に利用者が集中していることも、これらの小規模な公園の利用者が少ない要因と考えられる。加えて、隣接するエリアに岩倉公園、中央公園とおにくる、元茨木川緑地などが存在することも影響していると考えられる。
  - 利用が集中している公園では、公園施設が限られているにも関わらず利用内容が多様であったり、公園施設と合致しない利用が見られるなど、利用ニーズと利用の現状がミスマッチしている状況がうかがえる。

### ■利用者が比較的多かった公園



奈良東公園



## 中条多目的広場

## ■利用者がほとんど見られなかった公園



## 東中条町第4児童遊園



下中条町第2児童遊園



東中条町第3児童遊園

### ■隣接するエリアに存在する公園等のみどり



## 岩倉公園



## 中央公園・おにくる



水路